

2011年10月20日

オリンパス株式会社  
代表取締役会長兼社長執行役員 菊川 剛 殿

Cc オリンパス株式会社 取締役会

森嶋 治人 殿	中塚 誠 殿
森 久志 殿	西垣 晋一 殿
鈴木 正孝 殿	川又 洋伸 殿
柳澤 一向 殿	マイケル・C・ウッドフォード 殿
高山 修一 殿	林田 康男 殿
塚谷 隆志 殿	来間 紘 殿
渡邊 和弘 殿	林 純一 殿

Cc

常勤監査役 山田 秀雄 殿  
常勤監査役 今井 忠雄 殿  
社外監査役 島田 誠 殿  
社外監査役 中村 靖夫 殿  
アーンスト・アンド・ヤングジャパン 理事長 加藤 義孝 殿  
アーンスト・アンド・ヤング会長兼CEO ジェームズ・ターリー 殿  
東京証券取引所 上場部 上場会社担当課長 宮地 和幸 殿  
金融庁証券取引等監視委員会 英国重大詐欺局 バリー・コリンズ 殿

拝啓

サウスイースタン・アセット・マネジメントは2004年以来、友好的な株主としてオリンパス株式会社(以下オリンパス)の普通株を保有しています。現在では発行済株式総数の約5%を保有するに至っています。私たちは長期的な運用哲学に基づいた投資家であり、優秀な経営陣と優れたコーポレート・ガバナンスに支えられた質の高いビジネスに着目して投資を行なっています。

先日来、御社の前CEOであるマイケル・ウッドフォード氏が明らかにした詳細に渡る疑惑について私どもは深い懸念を抱いており、この疑惑について、うやむやのまま放置されることは許されないことと考えています。オリンパスは画像分野におけるすばらしい歴史や医療事業分野における高い技術を誇る会社であり、ウッドフォード氏の解任が発表される前日である10月13日の株価2,482円をはるかに越える企業価値を有しています。このような素晴らしい歴史と技術に値するコーポレート・ガバナンスや経営を全うすることが、会社ならびに全てのステークホルダーが、あなた方に託した職務です。

この点を踏まえ、私どもはあなたに下記の質問について回答するよう求めます。

私どもは、高い信頼性を有し、御社やGyrus社と関連性のない第三者の監査法人が詳細な



監査・調査を実施するとともに、下記の質問に対する回答を2011年11月16日までに行なうことを要求します。また、独立した第三者で構成される特別委員会が調査に係わるプロセスを監督し、回答を行なうことも要求します。

- **Gyrus 社買収について**
  - フィナンシャル・アドバイザーは **Axes America LLC** (以下 **Axes**) だったのですか。 **Axes** と **AXAM Investments Ltd** (以下 **Axam**) の関係についてお答えください。オリンパスの関係者は、 **Axes** や **Axam** と何らかの関係を持っていますか。両社の代表者は誰だったのですか。 **Axes** と **Axam** におけるオリンパスの担当者は誰だったのですか。
  - 20億ドルの買収価格に対し、その11.4%に相当する手数料(5,000万ドル相当のワラント、1億7,698万ドル相当のオプション)をオリンパスは支払いましたが、それはフィナンシャル・アドバイザーのどのようなサービスに対する対価でしたか。フィナンシャル・アドバイザーへの報酬の一部が2008年9月30日から2010年3月31日の間に1億7,698万ドルから6億2,000万ドル(1億7,698万ドルと4億4,302万ドルの合計額)に引き上げられた理由は何でしたか。
  - これらの手数料額を算出した計算式について教えてください。なぜ、計算式が変更されたのですか。当該金額が決定された計算式が合理的であることを確認するために専門家に相談しましたか。もし、そうであれば、詳細な説明を提示してください。20億ドルの買収価格に対し、その33.5%となる6億7,000万ドルの手数料支払をオリンパスの経営陣が正当だと判断する理由を教えてください。
  - 2010年5月28日にオリンパスの広報IR室から送信された e-mail において、2009年の年次報告書に記載された優先株に対する支出が、実際にはフィナンシャル・アドバイザーへの支払であったにもかかわらず、 **Gyrus** の買収のためのファイナンスの一部であると弊社に回答した理由は何ですか。
  
- **アルティス、ヒューマラボ、ニューズシェフ買収について**
  - オリンパスは当該企業をそれぞれどこから買収したのですか。オリンパスの関係者は、アルティス、ヒューマラボ、ニューズシェフの元所有者と何らかの関係を持っていますか。
  - アルティス、ヒューマラボ、ニューズシェフの企業価値は **DCF** 法を使って評価されました。この評価を実施した第三者の会計事務所はどこですか。この会計事務所はオリンパスにつき独自の分析をしたのですか、それともオリンパスが提供した前提に基づいて価値評価を行ったのですか。これらの企業評価及びアルティス、ヒューマラボ、ニューズシェフの買収は、取締役会で承認されたのですか。
  - 買収完了からわずか9か月後に、総額557億円という多額な減損処理を行った責任は誰がとったのですか。この損失はなぜ減損費用として処理せず、のれん代の償却として処理したのですか。英文の



2009 年年次報告書には、なぜ業績に悪影響を与えたアルティス、ヒューマラボ、ニューズシェフについての言及がないのですか。

- マイケル・ウッドフォード氏解任について
  - 代表取締役であるウッドフォード氏は、なぜ最後の取締役会で弁明の機会が認められなかったのですか。
  - ウッドフォード氏解任後の大幅な株価下落、それに伴って株主が被った数千億円に及ぶ市場における損失に対する責任は誰がとるのですか。

加えて、サウスイースタンは関連する取締役会議事録の閲覧・謄写を要求します。即ち、Gyrus、アルティス、ヒューマラボ、ニューズシェフの買収そしてそれについてのフィナンシャル・アドバイザーへのあらゆる支払いに関する議論及び承認に関連する取締役会議事録へのアクセスを要求します。誤解を避けるために申し上げますと、サウスイースタンはオリンパスの事業に影響を与え、サウスイースタンの活動に制限を加える重要非公開情報を入手しようとするものではありません。サウスイースタンは遅滞なく当該情報を入手できることを希望します。

また、上記質問に対して、2011 年 11 月 16 日までに、独立した第三者の監査人による回答をお送りくださいますようお願い申し上げます。

敬具



Mason Hawkins  
Chairman & CEO



Josh Shores  
Analyst & Principal



Andrew R. McCarroll  
General Counsel & Principal

※本文書は、2011 年 10 月 20 日に Southeastern Asset Management, Inc. がオリンパス株式会社代表取締役会長兼社長執行役員 菊川 剛氏に宛てた書簡を和訳したものです。最終的な内容の確認、照会についてはその原文において行われるようお願いいたします。本和訳が原文と相違する記載があるときはすべて原文が優先します。

